



2016年3月29日

各位

会社名 マックスバリュ中部株式会社
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 芳知
 (コード番号: 8171 名証第2部)
 問合せ先 取締役兼常務執行役員経営管理本部長 望月 俊二
 (TEL 052-857-0719)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2016年1月8日に公表しました2016年2月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

また、同期間において、下記のとおり特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(金額の単位: 百万円)

2016年2月期通期連結業績予想数値の修正 (2015年3月1日~2016年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	172,000	2,800	2,800	900	28円45銭
今回修正予想 (B)	173,900	3,180	3,190	1,310	41円41銭
増減額 (B-A)	1,900	380	390	410	
増減率 (%)	1.1	13.6	13.9	45.6	
(ご参考) 前期通期実績 (2015年2月期)	164,944	437	538	212	6円70銭

2016年2月期通期個別業績予想数値の修正 (2015年3月1日~2016年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	170,000	3,200	3,200	630	19円91銭
今回修正予想 (B)	171,730	3,670	3,660	840	26円56銭
増減額 (B-A)	1,730	470	460	210	
増減率 (%)	1.0	14.7	14.4	33.3	
(ご参考) 前期通期実績 (2015年2月期)	163,294	1,004	1,070	503	15円89銭

2. 修正の理由

既存店の改装効果等により、既存店の売上高は前年同期比102.5%と当初計画(100.0%)を上回り好調に推移しました。荒利益率も25.7%と前年同期比0.8ポイントと改善したことに加え、経費削減に向けた諸策の実行により、販売費及び一般管理費は当初計画内で推移し、連結および個別ともに営業収益・営業利益・経常利益・当期純利益が前回発表予想を上回る見込みとなりました。

3. 特別損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社グループの保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、第4四半期の店舗に係る減損損失は240百万円となりました。また、子会社への出資金の評価損803百万円を計上しておりますが、連結消去されるため連結業績には影響いたしません。

第3四半期までに計上した611百万円と合わせ、当連結会計年度における特別損失は852百万円となる見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上